

# 巡回展「拝啓 牧野富太郎さんへの手紙」

4月24日、牧野公園の麓にある青源寺で手紙コンテスト「拝啓牧野富太郎さんへ」（主催牧野富太郎生誕160年記念事業実行委員会）の表彰式も開催されました。2021年に募集した同コンテストには全国から310通の手紙が寄せられ、その中から「牧野富太郎賞」など12作品が選ばれました。

牧野富太郎賞を受賞した広島県の木下実々さん（13歳）の手紙には「植物には人を変える力があります。地球の未来のことも重ねて、私もよりたくさん的人に植物について知つてほしいと思います」と記されています。また、佐川町長賞を受賞した佐川小学校の元校長吉井太一氏（61歳）の手紙には「牧野さんの植物に対する思いや愛着心は今も佐川の子どもたちの心の中に育っています。ご安心ください」と書かれていました。



「牧野人」ご支援感謝  
(高知県仏教会会長)  
森 英真 様

## 編集後記

朝ドラ「らんまん」を応援する会の市川さんと話をしていく「牧野富太郎博士生誕160年の素晴らしい動きは永久保存版やね！」ということになり、「まずは、行動や！えいやっ！」と紙面を作ってみたところ、面白いこと！面白いこと！はりまやSTORYのweb版からも特別記念号としてタイアップしていただけたり、ご支援いただける方も現れたり！どこまで続くか分かりませんが、高知県民に「希望」の光を見せていただけた朝ドラ決定を「私たちのできること」で盛り上げていけたらと思います。次号は、市川さんの「東京都立大学牧野標本館や練馬区等取材記事」を特集させていただきます。お楽しみに！

はりまやSTORY 松田



完全予約制で全室個室！  
大正2年創業の鰻料理店



うなぎ専門店 大正軒

〒789-1201 高岡郡佐川町甲 1543  
0889-22-0031



牧野富太郎博士 生誕160年記念号



文/市川 浩司  
写真/門田 幹也

## 巨大なお花のバースデイケーキもお目見え！愛されてますね、牧野先生♡

牧野さん生誕160年を祝う生誕祭（主催牧野富太郎博士生誕祭実行委員会）が4月23日、24日の両日、牧野公園及び周辺エリアの上町で開催されました。お花のバースデイケーキ展示、稻垣典年先生と歩く公園散策、山野草の販売、コケ玉作りワークショップ、草あそび展（リース・スワッグ等展示）、第4回牧野公園写真展、牧野富太郎博士生誕祭コンサート等々、牧野公園はなもりC・LOVEやNPO法人佐川くろがねの会、佐川び人連といった佐川町の各団体が協力し、多彩な催しで生誕祭を盛り上げました。牧野さんの誕生日の24日はあいにくの雨で、出展者の売場の移動もありましたが、来年春の朝ドラ「らんまん」放送決定もあってか、予想以上の多くの来場者でございました。

♪牧野博士も学び、教えて、佐川町「名教館」で開催された生誕祭コンサートの様子です♪



## 牧野博士160歳のお誕生日に掲載された記念すべきラッピング新聞をバッグに。

2022年4月24日の高知新聞は牧野博士が1939（昭和14）年、東京の博士の自宅庭で採取されたセンダイヨシノの植物標本が新聞を包んだ「ラッピング」が施されていました。ちょうど、この紙面企画段階で、高知新聞社の竹内記者から斬新な構想を伺つておりましたので、その後の評判の良さには、心の中で拍手を送つておりました。

6月4日、高知県立牧野植物園で開催された朝井さんの講演会「愛すべき天才の情熱」の取材の際、当日の新聞と、この新聞で制作していただいた新聞バッグ（長崎文晴さん作）をプレゼントさせてい

たきました。  
ちょうど講演を聞きにこられた方からも、朝井さんへの質問タイムで、牧野博士のお誕生日に新聞を包んだ「ラッピング」が施されたこともありました。ちょうど、この新聞で制作していただいた新聞バッグ（長崎文晴さん作）をプレゼントさせてい

たきました。  
こんな人やったんか！」という驚きのことばだったそうです。  
「スケールが大きい」というか、スケールに限界がない。自分で限界を手に取られた時の感動が報告されたりもあり、大変よろこんでいただきました。  
大阪弁の親しみ深いお声、知性、品性あふれる美しい「ことば」、そして一番感動したのが、あの破天荒な牧野博士の人生そのものを包み込むような絶対的な包容力。博士のことを「富さん」と呼ばれる度に、あの薄ピンク色のラッピングの色が頭に浮かぶようでした。

「ボタニカ」を出版し、書評でよく目にするのは「牧野富太郎つ

などなど。



朝井まか（小説家）  
1959年 大阪府生まれ。2008年『美さえ花さえ』（のち『花競べ』に改題）で小説現代長編新人賞奨励賞を受賞してデビュー。14年『恋歌』で直木賞、21年『類』で柴田錬三郎賞のほか、数々の賞を受賞。近著に、世界的な植物学者、牧野富太郎を描いた長編『ボタニカ』がある。



自社の約10,000m<sup>2</sup>の畠で、4,000本のブルーベリーを栽培。そのブルーベリーをふんだんに使った濃厚なブルーベリースイーツの数々。地元が誇る濃厚「吉本牛乳」を使用した「地乳ソフトクリーム」は、そのままでも美味しいのですが、霧生園自慢のブルーベリーソフトとのミックスも最高ですよ！

ブルーベリーがゴロゴロ入ったジャムも、お土産に是非！

高知県高岡郡佐川町甲1756-2  
0889-22-0334  
9:00 ~ 18:00  
定休日：年末年始

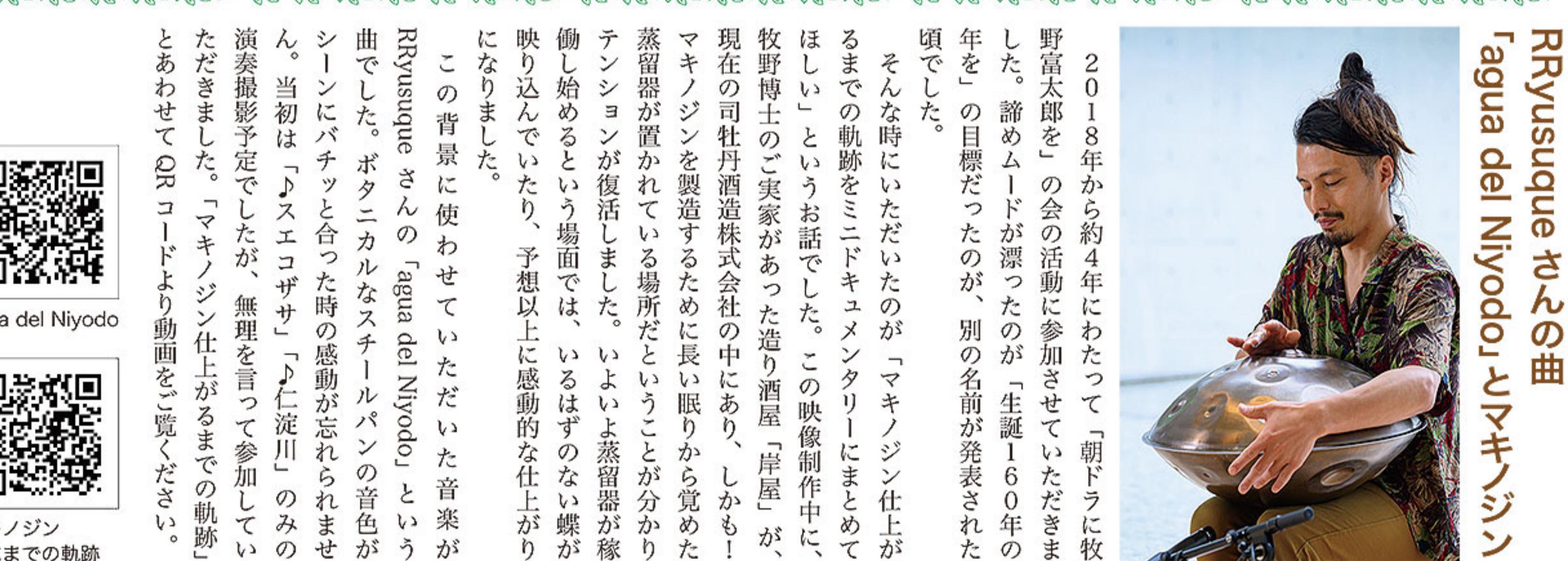


kiryuen\_sakawa  
[https://instagram.com/kiryuen\\_sakawa?igshid=YmMyMTA2M2Y=](https://instagram.com/kiryuen_sakawa?igshid=YmMyMTA2M2Y=)



朝ドラ決定前に「もう一押し！」と制作させていただいた「ラスエコザサ」のDVD集。朝ドラ決定後、2022年4月24日、喜びと興奮の勢いで、牧野富太郎博士生誕160年祝いの演奏を企画。新たに、博士の植物への好奇心を育てた越知町横倉山にある横倉山自然の森博物館での撮影記録を加えさせていただきました。二胡松居孝行さん、ギター佐伯北斗さん、寿美玲子さんが歌われた「ラスエコザサ」、松居孝行さんが歌われた「仁淀川」、当日の様子はこわらのOBEカードからご覧になつていただけます。

牧野博士、寿衛子夫人の写真に見守られながら、横倉山自然の森博物館では、音楽好きの博士に、歌と演奏をプレゼント！



2018年から約4年にわたって「朝ドラに牧野富太郎を」の会の活動に参加させていただきました。諦めムードが漂つたのが「生誕160年の年を」の目標だったのが、別の名前が発表された頃でした。  
そんな時にいたいたのが「マキノジン仕上がりまでの軌跡をミニドキュメンタリーにまとめてほしい」というお話でした。この映像制作中に、牧野博士のご実家があつた造り酒屋「岸屋」が、現在の司牡丹酒造株式会社の中にあり、しかも！マキノジンを製造するために長い眠りから覚めた蒸留器が置かれている場所だということが分かりテンションが復活しました。いよいよ蒸留器が稼働し始めたという場面では、いるはずのない蝶が映り込んでいたり、予想以上に感動的な仕上がりになりました。

## 司牡丹・特別純米酒 ハナトコイシテ



牧野博士生誕160年企画SETはこちら

司牡丹酒造株式会社 〒789-1201 高知県高岡郡佐川町甲1299番地 TEL0889-22-1211